

海軍公報

第二千二百五十五號

海軍大臣官房

大正九年四月一日(木)

令 達

官房第八〇二號ノニ

宣仁親王殿下海軍兵學校ニ於テ準備御教育中海軍部内ニ於ケル御資格及御服装ハ海軍兵學校生徒ニ準スルコトニ定メラル

大正九年四月一日

海軍大臣 加藤友三郎

官房第一一一二號

海軍經理兵ハ海軍經理學校高等科經理練習生又ハ普通科經理練習生ノ教程ヲ卒業セル下士官兵ノ呼稱トシテ特章トシテ掌記徽章ヲ附着セシム
但特技章加俸ハ高等科ノ教程ヲ卒業セル者ニノミ支給スル儀ト心得ヘシ

大正九年四月一日

海軍大臣 加藤友三郎

官房第一一一三號

在回進級シタル各科特務中尉ハ別ニ辭令ヲ用キス從前

海軍公報第二千二百五十五號

大正九年四月一日

二六五

ノ職ニ補充セラレタルモノトス

大正九年四月一日

海軍大臣 加藤友三郎

官房第一一一四號

大正八年官房第一七六八號海軍特務士官准士官配屬命課心得ヲ廢ス

大正九年四月一日

海軍大臣 加藤友三郎

官房第一一一五號

大正六年七月官房第二一一二六號令達別表機械器具工作物整理區分標準表中工場内「オリバーヘッドトラペリ」ノシク「レール」用「クランウエーガトター」及「レール」ノ備考欄ニ左ノ但書ヲ加フ
但「レール」ハ初度敷設ノ時ハ工作物設備後ハ器具トシテ整理スルモノトス

大正九年四月一日

海軍大臣 加藤友三郎

官房第一一六號

大正九年度當省所管歳入歳出科目ハ何分ノ令達アルマ
 ナ前年度通トス

但シ海軍武官官階表其他ノ改正ニ伴ヒ「節」科目ハ
 左ノ例ニ依リ改正ス

大正九年四月一日

海軍大臣 加藤友三郎

將校	機醫	軍醫	藥劑	主計	造船	造船	造船	水路	大計	少計	兵曹	機關	軍樂	船匠
兵科士官	機科士官	軍科士官	藥科士官	主計科士官	造船科士官	造船科士官	造船科士官	水路科士官	主計科士官	少計科士官	兵科特務士官	機關科特務士官	軍樂科特務士官	船匠科特務士官

看護長	筆記長	上等兵曹	軍樂兵曹	船匠師	上等樂師	軍樂師	船匠師	看護筆	筆記	看護手	看護手	看護手	看護手	看護手	看護手
看護科特務士官	主計科特務士官	兵曹長	機關兵曹長	軍樂兵曹長	船匠兵曹長	看護兵曹長	看護兵曹長	看護兵曹長	看護兵曹長	看護兵曹長	看護兵曹長	看護兵曹長	看護兵曹長	看護兵曹長	看護兵曹長

○通牒

教本第三一〇號

大正九年四月一日

海軍教育本部長 有馬良橘

鎮守府司令官殿

練習生採用ノ件

右通知ス	期入校豫定期日	期所見表到達	豫定期日	採用試験	採用手續	採用規格	員數				種別	左記ニ依リ普通科電信術練習生ヲ採用ス
							舞	佐	吳	横		
	自大正九年六月八日 至大正九年六月九日	大正九年六月五日	大正九年四月二十七日		(イ)新三等水兵ヨリ採用スルモノニアリテ (ロ)二等水兵ヨリ採用スルモノニアリテ ハ所轄長之ヲ選抜(水雷學校規則ニ依 ル試験及検査ヲ省ク)シ各之ヲ鎮守府 司令長官ニ報告シ鎮守府司令長官ハ其 ノ採用人員ヲ決定ス	大正六年九月官房第二九二八號ニ依ル 大正六年九月二十七日海軍公報 第一五二三號	三〇	五二	三八	四〇	第二十一期普通科	

海軍公報第二千二百五十五號 大正九年四月二日

○辭令

○大正九年三月三十日

- 任海軍教員 休職新潟縣東蒲原郡掛川村
谷花澤常高等小學校訓導 高橋 政吉
- 給月俸參拾貳圓
- 任海軍教員 休職新潟縣東蒲原郡掛川村
谷花澤常高等小學校訓導 高橋 スミノ
- 給十級俸
- (各通) 海軍教員 高橋 政吉
- 臨時南洋群島防備隊民政部附ヲ命ス(海軍省) 高橋 スミノ
- 給三級俸 海軍書記生 向坂 武
- 給四級俸 海軍技手 桑原 榮八郎
- (各通) 海軍屬 栗山 公平
- 海軍書記 貝塚 豐吉
- 給五級俸 海軍書記 小川 宇三郎
- 海軍屬 淺田 久三郎
- 海軍屬 利府 貞司
- 海軍屬 竹内 喜太郎
- 海軍屬 安達 長吉
- 海軍屬 小澤 義諭
- 海軍屬 諸田 峰松
- 海軍屬 石丸 金太郎
- 海軍屬 宮下 仙三

二六七

給六級俸

同 海軍編修書記 近藤 清
 海軍技手 村山 勇三
 海軍技官補 奥田 敦
 遠山 次男

(各通)

同 海軍屬 増井 善次郎
 同 岡村 堅吾
 同 青柳 近顯
 同 關 清見
 同 兒島 綱彦
 同 藤井 昇作
 同 星野 安藏
 同 小坂 廣平
 同 海軍技手 元吉 善之助
 同 海軍書記生 大島 清六
 同 海軍技官補 河村 東平
 同 海軍教員 高田 博
 同 西山 益二郎

給七級俸

同 海軍屬 田中 德五郎
 同 森 唯三
 同 小泉 久次郎
 同 海軍技手 河面 三郎
 同 海軍技官補 井原 柳三
 同 海軍警吏 藤森長左衛門

(各通)

給月俸參拾七圓

同 海軍醫員 白倉 通雄
 海軍教員 渡部 茂一
 同 石橋 寬一郎
 同 保高 保守

(各通)

給八級俸

同 海軍屬 内藤 義比
 同 吉川 直吉
 同 大出 季一
 同 小林 正
 同 田尾 清城
 同 藤原 長助
 同 波田 才次郎
 同 飯尾 種雄
 同 渡邊 喜三
 同 海軍技官補 大橋 慶龍
 同 海軍教員

(各通)

給月俸參拾貳圓

同 海軍屬 井上 精一
 同 海軍書記 安島 安
 同 海軍書記生 弘中 正男
 同 海軍警吏 田山 茂久藏
 同 佐藤 恭亮
 同 小柴 重内
 同 庄子 利光

給九級俸	海軍屬	沖村 健次
給九級俸	同	荒井 一郎
給九級俸	同	安樂 半二
給九級俸	海軍書記生	石塚 與次
給九級俸	同	塚原 武雄
給九級俸	海軍枝官補	細田 健太郎
給九級俸	海軍警吏	竹内 清一郎
給九級俸	海軍教員	島田 恒久
給九級俸	海軍屬	中川 淳造
給九級俸	同	田村 辰男
給九級俸	同	山口 釋之助
給九級俸	同	豊永 幸之輔
給九級俸	同	佐藤 維弘
給九級俸	海軍書記生	川越 維弘
給九級俸	同	來島 芳三郎
給九級俸	同	西村 喜代造
給九級俸	海軍警吏	田中 雪次
給九級俸	同	伊藤 貞一
給九級俸	海軍警査	岩石 善三郎
給九級俸	同上(以上均海軍省)	
給二級俸	海軍書記	森脇 熊次郎
給五級俸	同	五味 實江
給五級俸	同	根本 龜吉
給五級俸	同	佐科 嘉門
(各通)		
給七級俸	給月俸參拾七圓	田中 耕
(各通)	同	上西 玄作
(各通)	同	齋藤 久男
給月俸參拾貳圓	同	三輪 彌十郎
(各通)	同	堀江 伊勢松
(各通)	同	土森 平太郎
給九級俸	海軍技手	岩谷 銓之助
給二級俸	同	島崎 富治
給九級俸	給四級俸(以上均海軍教育本部)	小池 作助
給三級俸	海軍書記	島森 銀次郎
(各通)	同	諸岡 房吉
(各通)	同	黒田 節次郎
給四級俸	同	島 堅三
給五級俸	同	長尾 盛之助
給六級俸	同	萬成 斧三郎
給七級俸	同	高井 進
給八級俸	同	丹羽 勇次
給月俸參拾貳圓	同	萬力 毅
(各通)	同	小野 房次郎
給九級俸	同	

海軍公報第二千二百五十五號 大正九年四月一日

海軍公報第二千二百五十五號 大正九年四月一日

給三級俸 (各通)	同 同 同 同	海軍 技手	川瀨時三 天野修一 眞砂順吉 浦上自悦
給四級俸 (各通)	同 同 同 同		齋藤正輔 鬼塚秀盛 手島榮次
給五級俸 (各通)	同 同 同 同		青野隼人 長沼良而 今井武雄 長島長吉
給六級俸 (各通)	同 同 同 同		森脇末治 末永徳夫 末松茂 谷田部鱧二郎
給七級俸 給月俸參拾七圓	同 同 同 同		岡部通操 伊藤友一 中山清一 池田吉二 江見音五郎
給三級俸	同 同	自今報酬月額四拾圓ヲ贈與ス(四月一日海軍技術本部)	賜託 永見 遼
給四級俸	同	海軍書記	佐々木徳三郎
給五級俸	同	同	森川安一
給六級俸	同	同	石井誠一
給七級俸 給月俸參拾貳圓	同	同	水戸 靜人 平野 春松
給七級俸 給月俸參拾七圓	同	同	石原 義明 所 秀實 下田 實一 青木 茂三 水野 莊太郎 大谷 文太郎 北野 昶七 佐伯 尙夫
給六級俸	同	同	早乙女嘉兵衛
給七級俸	同	同	逸見 昭房 中田 豊藏
給七級俸 給月俸參拾七圓(以上請ニ海軍造兵廠)	同	同	豊福 定次 佐藤 勝

給五級俸	海軍書記	小幡 伍逸
給月俸參拾七圓	同	鳴倉 豐
(各通)	海軍編修書記	河合 將興
給七級俸	同	神山 俊一
給三級俸	海軍技手	小林 御治
(各通)	同	關根 利三郎
給七級俸	同	工藤 慶策
(各通)	同	關 守一
給七級俸	同	小川 由乙
給月俸參拾七圓	同	名古屋 金吾
(各通)	同	龜山 明一
給八級俸	同	渡邊 威之助
(各通)	同	秀島 孜
給九級俸(以上海軍水路部)	同	廣田 京作
給四級俸	海軍書記	久保田 惣之助
給二級俸	海軍技手	小田 垣清造
給四級俸	同	鳥居 潮
給六級俸	同	荒木 隆吉
給月俸參拾七圓	同	中村 清藏
給八級俸	同	渡邊 憲
給月俸參拾貳圓(以上海軍臨時海軍建築部)	同	野瀬 貴一

海軍公報第二千二百五十五號

大正九年四月一日

○艦船所在

指定ヲ要セス

○四月一日午前十時調

【横須賀】 口榛名、比叡、口筑摩、平戸、金剛、山城、朝日、生駒、春日、富士、津軽、千早、橋立、滿州、武蔵、若宮、口天龍、口濱風、磯風、天津風、時津風、口谷風、江風、口夕立、夕暮、口三日月、白露、口吹雪、有明、如月、初霜、神風、響、澤風、榎、不知火、薄雲、浦風、口潛一六、潛一七、潛一、潛二、口雄、鷗、白鷹、野間、松江、高崎、勝利、關東、潛〇五、潛〇七、御吉野丸

【浦賀】 柿

【大湊】 口追風、疾風、彌生、夕風

【吳】 長門、攝津、淺間、矢矧、千歲、明石、滝、口代田、周防、石見、駒橋、大和、口龍、陽炎、曙、口磯波、浦波、綾波、楡、栗、口新高、韓崎、口潛二〇、潛一五、潛一九、口潛一〇、潛一、潛一二、口潛八、潛九、潛一三、口潛五、潛三、潛四、潛六、潛七、潛一四、潛二二、潛二三、口水七〇、水六七、水六八、水七一、室戸、潛〇一、潛〇二、潛〇四、潛〇六

【神戶】 潛一八、潛二一、潛二五、潛二六、膠州

【徳山】 野島

【佐伯】 口伊勢、扶桑、日向、口龍田、口桑、櫻、楢、楓、口楓、桂、梅、楠、口檜、桃、櫻、柳

【佐世保】霧島、出雲、磐平、球磨、沖島、口柏、

杉、松、檜、口松風、野分、白雲、口蒼鷹、鶴、燕

口鷹、鶴、雲雀、勢山、○三

【寺島水道】口鞍馬、伊吹、敷島、口對馬、口春風、初春、

初雪、時雨、口潮、朝風、若葉、子日

【長崎】多摩

【川棚沖】口竹、梨、樅

【若津】雁▲

【三角】口安藝、薩摩、香取、口檜、海風、山風、覆

【種子島】志自岐

【舞鶴】鹿島▲、阿蘇▲、峯風▲、沖風、島風、

口水七三、水七二、水七四、水七五

【鎮海】口村雨、朝霧、白雲、朝潮

【旅順】口水無月▲、長月▲、菊月▲、卯月▲

【馬公】秋津洲、口櫻、樺、桐、橘

【南洋群島】八雲、最上、松山丸

【浦鹽斯德】口肥前

【上海】鳥羽、宇治

【漢口】口須磨、嵯峨

【沙市】口限田

【新嘉坡】口日進、利根

【航海中】

▷吾妻、常磐(三月二十五日坡西土發古倫母へ)

洲崎(三月二十五日「タワオ」發佐世保へ)

辨天丸(三月二十八日徳山發青島へ)

伏見(三月三十一日南京發上海へ)

青島(三月三十一日門司發舞鶴へ)

劍崎(三月三十一日佐世保發鎮海へ)

○雜款

○司令驅逐艦變更

第三十二驅逐隊司令ハ三月二十三日司令驅逐艦ヲ海風

ヨリ檜ニ變更セリ

○正誤

昨三十一日日本欄伊達機關中將卒去ノ日二十九日ハ三十

日ノ誤

(部内限二頁)

海軍公報第二千二百五十五號附錄

大正九年四月二日(金)
海軍大臣官房

○ 雜款

○ 圖書

去ル三月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍省文庫)

第一門

海軍兵學校沿革 海軍兵學校編 大正九

第二門

近世法學通論 法學博士三浦信三著 大正九

日相續法論 法學博士牧野菊之助著 大正八

海軍治罪法改正案共同調査委員會議事録 大正九

海軍治罪法改正案共同調査委員會議事録 大正九 四冊

大正七年條約彙纂 外務省編 大正九 二冊

社會問題總覽 高島素之編 大正九

新社會問題十二講 生田長江、本間久雄著 大正八

大太平洋大觀 中村彌造著 大正九

第四門

蒙古地誌 柏原孝久、濱田純一著 大正八 三冊

朝鮮全圖 墨勞馬著 大正八

海軍公報第二千二百五十五號附錄 大正九年四月二日

第八門

ガソリン工場管理法 米、イートナ、エル、カンマ著 陸三郎譯 大正九

洋書ノ部

CLASS I.

Bainstow, Leonard. Applied aerodynamics. London 1920.

Smith, I. Y. Romance of aircraft. N.Y. 1919.

Wade, W. L. The aeroplane in the great war. London 1919.

CLASS II.

Spaight, J. M. Aircraft in peace and the law. London 1919.

Davison, C. S. The freedom of seas. N.Y. 1918.

Percy, Eustance. The responsibilities of the league. London 1919.

Baxton, Noel & C. L. Lesse. Balkan problems and European peace. London 1919.

Hill, D. J. The rebuilding of Europe. N.Y. 1917.

4838
4891
4840
4810
4817
4831
4830
4280

2055



Bullard, Arthur. The Russian pendulum. N. Y. 1919.	4828		
Russel, Bertrand. Roads to freedom. Socialism, anarchism, and syndicalism. London 1919.	4818		
Annual register, The. London 1758-1915.	4591		
Hearnshaw, F. J. C. An outline sketch of the political history of Europe in the nineteenth century. London 1919.	4811		
Ballog, Hilaire. The elements of the great war. N. Y. 1915. 2 vol.	4829		
Dane, Edmund. British campaign in Africa and the Pacific 1914-1918. London 1919.	4815		
New York Times' current history, The. The European war. N. Y. 1914.	4826		
Volunteer force and the volunteer training corps during the great war. Official report of the Central association volunteer regiments. London 1920.	4834		
Cornford, L. C. The Paravane adventure. London 1919.	4836		
Mine force United States Atlantic Fleet. The northern barrage. Annapolis 1919.	4820		
Dillon, E. J. The peace conference. London 1919.	4839		
Harris, H. W. The peace in the making. 1919.	4837		
Poiloné, A., Capitaine de vaisseau. La bataille navale du Skagerrack. Paris 1919.	967		
Fraccaroli, Arnaldo. L'Italia ha vinto. Milano 1919.	168	CLASS IV.	
Cheng, Shih-gung. Modern China. A political study. Oxford 1919.	4812		
Cox, L. M., U. S. Navy. The Island of Guam. Wash. 1917.	4827	CLASS V.	
Manual of conversation with models of letters for the use of travellers and students. English and French. Paris.	4816		
Grillo, Ernesto. A new Italian grammar for the use of schools, commercial colleges, and universities. London 1918.	4824	CLASS VI.	
Schmidt-München, Basfian. Deutsche Naturwissenschaft Technik und Erfindung im Weltkriege. München 1919.	1068		
Gutmann, Walter. Medizinische Terminologie. Berlin 1919.	1067		

2056

Vigueron, H. Les applications de la physique pendant la guerre. Paris 1919. 4823

CLASS VIII.

Wagner, J. B. Seasoning of wood. N. Y. 1917. 4823

Böwle, C. P. Oil-storage tanks and reservoirs. Wash. 1918. 4821

Bloomfield, Meyer. Management and men. N. Y. 1919. 4822

Denning, Arthur du Pré. Scientific factory management. London 1919. 4813

Gilbreth, F. B. & L. M. Gilbreth. Fatigue study. London 1919. 4832

Applied motion study. London 1919. 4833

Slichter, S. H. The turnover of factory labor. N. Y. 1919. 4841

Whiteford, J. F. Factory management wastes and how to prevent them. London 1919. 4814

2057

海軍公報

第二千二百五十六號

海軍大臣官房

大正九年四月二日(金)

○通牒

大正九年四月二日

海軍省經理局

關係各廳御中

辭令用紙代價ノ件

左記ノ通り印刷局會計部ヨリ通知ニ接シ候條御了知相成度
右通知ス

大正九年四月一日

印刷局會計部

海軍省御中

桐御紋滲入辭令用紙代價ノ儀原料藥品等代價昂騰ニ付
九年度ヨリ百枚ニ付金貳圓ニ改定候條了知相成度
追テ貴所屬各部隊等ヘモ其旨通知相煩度

○辭令

大正九年四月一日

海軍公報第二千二百五十六號 大正九年四月二日

任海軍書記

給七級俸

任海軍技手

給五級俸

任海軍技手

給六級俸

伊東猪三郎

丸木多吉

淺川好文

飯田久恒

英國駐在員監督ヲ免ス 海軍少將 飯田久恒

英國駐在員監督ヲ命ス 海軍大佐 小林 騰造

海軍大佐 野村吉三郎

靖國神社例祭典掛ヲ命ス

海軍武功調査委員ヲ命ス

大正三年乃至九年從軍記章授與調査委員ヲ命ス

海軍武功調査委員ヲ命ス 海軍少佐 松平 忠壽

海軍武功調査委員ヲ命ス 海軍少佐 出光 萬兵衛

英國駐在中自今加俸三千七百圓ヲ給ス

海軍軍令部附ヲ命ス 海軍書記 伊東 猪三郎

海軍軍令部附ヲ命ス 海軍技手 丸木 多吉

海軍艦型試驗所附ヲ命ス

海軍技手 淺川 好文

海軍技手 淺川 好文

2058

海軍技術本部附兼造兵監督助手ヲ命ス
依願免本官 休職海軍書記 帖佐 武次

海軍深炭所ニ於ケル醫療囑託 益田 狹植

自今報酬月額百拾圓ヲ贈與ス

横須賀海軍經理部土木工事業務囑託 番場 甚三郎

自今報酬月額百五拾五圓ヲ贈與ス

横須賀海軍經理部建築工事業務囑託 濱田 銀次郎

自今報酬月額百參拾圓ヲ贈與ス

水路部ニ於ケル海洋ニ關スル調査事務囑託 小林 辰之助

自今報酬月額五拾圓ヲ贈與ス

海軍省事務囑託 水川 啓一

自今報酬月額參拾七圓ヲ贈與ス

同 土屋 豊松

自今報酬月額參拾圓ヲ贈與ス(以上海軍省)

海軍大學校物理學教授助手囑託 阿部 勝治

贈與報酬月額參拾八圓

海軍大學校化學教授助手囑託 濱本 長三郎

贈與報酬月額參拾五圓

海軍大學校電氣工學教授助手囑託 澤畑 省三

贈與報酬月額參拾圓

海軍兵學校理化學教授助手囑託

贈與報酬月額參拾貳圓

海軍機關學校化學教授助手囑託 福島 啓

贈與報酬月額參拾圓

海軍機關學校柔道教員囑託 有光 茂治

贈與報酬月額四拾圓

海軍砲術學校劍術教員囑託 磯ヶ谷 宇太郎

贈與報酬月額四拾圓

海軍軍醫學校X光線放射術教授助手囑託 中條 克太郎

贈與報酬月額貳拾七圓

海軍軍醫學校病理學教授助手囑託 相澤 豊吉

贈與報酬月額參拾七圓

海軍軍醫學校臨床診斷法及各種療法教授助手囑託 貴旨 吉藏

贈與報酬月額參拾五圓

海軍軍醫學校防疫學教授助手囑託 木村 崧松

贈與報酬月額貳拾圓(以上海軍教育本部)

海軍機關大佐 岸本 信太

第五部勤務ヲ命ス(前海軍技術本部)

渡邊 祐一

森 春三

中西 成德

丹羽 義平

島川 宗三郎

千葉 宗三郎

(各通)

<p>海軍造兵生徒ヲ命ス(前海軍技術本部) 海軍中佐 吉村 信成</p> <p>海軍軍令部編纂事務ヲ囑託ス 但報酬月額六拾五圓ヲ贈與ス 文學博士 大類 伸</p> <p>海軍軍令部編纂事務ヲ囑託ス 但報酬月額六拾五圓ヲ贈與シ部内限リ奏任官ヲ以テ待遇セラル</p> <p>(各通) 別府千代太郎 井上 琢為 村田 太</p> <p>海軍軍令部編纂事務ヲ囑託ス 但報酬月額五拾圓ヲ贈與シ部内限リ判任官ヲ以テ待遇セラル</p> <p>(各通) 原田 種道 原田 種平</p> <p>海軍軍令部編纂事務ヲ囑託ス 但報酬月額四拾五圓ヲ贈與シ部内限リ判任官ヲ以テ待遇セラル</p> <p>海軍軍令部編纂事務囑託 今井 雄治</p> <p>自今報酬月額四拾五圓ヲ贈與ス 同 島田 健</p>	<p>自今報酬月額四拾圓ヲ贈與ス 同 廣志 天然</p> <p>自今報酬月額參拾七圓ヲ贈與ス 同 佐藤 芳敏</p> <p>自今報酬月額參拾五圓ヲ贈與ス(以上海軍軍令部) 海軍省人事局恩給事務囑託 小川 清 藤田 治朝 影山 廣人</p> <p>自今報酬月額參拾五圓ヲ贈與ス 同 渡邊 要之助</p> <p>自今報酬月額參拾貳圓ヲ贈與ス(以上海軍省人事局) 寫真製版業務囑託 伊東 亮次 海軍書記 小泉 藤治郎</p> <p>給月俸三拾七圓 同 飯田 小三郎 同 河野 秀作</p> <p>(各通) 給月俸三拾二圓 同 青木 一三郎</p> <p>海軍技手 下村 秀雄 同 鈴木 初太郎 同 富永 勢吉</p> <p>(各通)</p>
--	---

海軍公報第二千二百五十六號 大正九年四月二日

二七五

給六級俸 同 大場 雅

給七級俸 同 内田 實

同 尾羽澤 友福

同 榑谷 篤吉

同 福田 子之作

同 橋本 壽雄

同 阿部 孫市郎

給月俸三拾七圓(以上皆海軍火藥廠)

○艦船所在 指定ヲ要セズ

○四月二日午前十時調

【横須賀】 口榛名、比叡、筑摩、平戸、金剛、山城、朝日、生駒、春日、富士、津輕、千早、橋立、滿州、武蔵、若宮、天龍、口濱風、磯風、天津風、時津風、口谷風、江風、口夕立、夕暮、三日月、白露、口吹雪、有明、如月、初霜、神風、響、澤風、榎、不知火、薄雲、浦風、口潛一六、潛一七、潛一、潛二、口雄、鷗、鴻、白鷹、松江、高崎、勝力、關東、潛〇五、潛〇七、御吉野丸

【浦賀】 梯

【大湊】 口追風、疾風、彌生、夕風、長門、橋津、淺間、矢矧、千歲、明石、

淀、千代田、周防、石見、駒橋、大和、口磯波、浦波、綾波、楡、栗、新高、口潛一〇、潛一五、潛一九、口潛一〇、潛一、潛一六、口潛八、潛九、潛二、口潛五、潛三、潛四、潛六、潛七、潛一四、潛三三、潛三三、口水七〇、水六七、水六八、水七一、潛〇一、潛〇二、潛〇四、潛〇六

【神戶】 野島

【德山】 野島

【佐世保】 敷島、霧島、出雲、磐手、球磨、沖島、口潮、朝風、若菜、子日、口柏、杉、松、白雲、口蒼鷹、鶴、燕、口鷲、鶴、雲雀、勞山、口三、口寺島水道、口鞍馬、伊吹、口對馬、口春風、初春、初雪、時雨

【長崎】 多摩、口種

【川棚沖】 口竹、梨、樅

【若津】 雁

【種子島】 志自岐

【舞鶴】 鹿島、阿蘇、峯風、口沖風、島風、口水七三、水七二、水七四、水七五、青島

【鎮海】 口村雨、朝霧、白雲、朝潮

【旅順】 口水無月、長月、菊月、卯月

【青島】 辨天丸

【馬公】 秋津洲、口櫻、樟、桐、橘

【南洋群島】 八雲、最上

【浦羅斯德】 口肥前

【上海】 鳥羽、宇治
 【漢口】 ▶須磨、嵯峨
 【沙市】 鴨田
 【新嘉坡】 ▶日進、利根

【航海中】

▶香妻、常磐(三月二十五日坡西土發古倫母へ)
 洲崎(三月二十五日「タワオ」發佐世保へ)
 伏見(三月三十一日南京發上海へ)
 松山丸(三月三十一日「トラック」發内地へ)
 室戸(一日吳發西戶崎へ)
 ▶伊勢、扶桑、日向、龍田、巨桑、櫻、椿、楓、桂、
 梅、楠、榎、桃、櫻、柳(一日佐伯發德島へ)
 野間(一日横須賀發「ホノルル」へ)
 ▶松風、靉、野分(一日佐世保發鎮海へ)
 劍崎(一日鎮海發佐世保へ)
 ▶安藝、薩摩、香取、海風、山風、榎(二日三角發長崎へ)

○雜款

○司令驅逐艦變更
 第二十二驅逐隊司令、三月三十一日司令驅逐艦ヲ桐日
 リ櫻ニ變更セリ

○郵便物發送先
 第二十五驅逐隊(竹、樺、梨)宛
 本日以後 佐世保

○正誤

昨日辭令欄二七〇頁下段下田健一、同末
 行 三月三十一日、三月三十一日ノ誤

○電話架設

番町五三〇六 海軍省醫務局局員
 海軍軍醫大佐 大貫 安三
 牛込區矢來町十三番地

海軍公報第千二百五十六號 大正九年四月二日(號外一頁、部内限一頁、附錄四頁)二七七

海軍公報

第二千二百五十七號

海軍大臣官房

大正九年四月五日(月)

○通牒

教本第三一九號

大正九年四月五日

海軍教育本部長 有馬 良橋

鎮守府司令長官殿

大正八年二月教本第九一號普通科電信術練習生候補者選抜規程左ノ通改正ス

第四條ヲ左ノ如ク改ム
實驗検査ハ四等水兵終業期前適宜ノ時期ニ於テ各種一同之ヲ施行シ練習生候補者ノ順序ヲ決定スルモノトス

第五條中「五等水兵」ヲ「四等水兵」ニ改ム
第六條第一號以下ヲ左ノ通改ム

第一類 検査

- 一、補字法
- 二、正誤法
- 三、分類法
- 四、反對法
- 五、因果法

六、加算法

七、比例法

八、翻譯法

第二類 検査

九、注意集中検査

十、注意分配検査

十一、聽覺的記憶検査

十二、筋肉速度検査

成績表別表第一ヲ別紙ノ通改ム(別表略)

附記

實驗検査説明書ヲ別冊ノ通改ム但シ別冊ハ要スル向キニ配付ス
右通知ス

經豫第一八五號

大正九年四月五日

海軍省經理局長 志 佐 勝

第一潜水戰隊會計給與ノ件別紙上申ニ對シ認許セラル
右通知ス

(別紙)

海軍公報第二千二百五十七號

大正九年四月五日

二七九

3008

2063

第一潜水戦隊第三四號ノ二

大正九年三月二十日吳旗艦新高

第一潜水戦隊司令官 松村 純一

海軍大臣加藤友三郎殿

司令官部職員及司令部附會計給與ニ關スル件

本職四月上旬ヨリ五月中旬迄旗艦ヲ新高ヨリ韓崎ニ變
更ノ豫定ニ有之候處當隊司令部職員及司令部附ニ對ス
ル會計給與ニ關シテハ同期間モ依然新高主計長ヲシテ
處理爲致度候條御認許相成度
右五申ス

○ 辭令

(各通)

海軍技師 福田 徳太郎
同 岡垣 宗三郎
同 西村 智

第二部勤務ヲ命ス(謂ハ海軍技術本部)

海軍大佐 波多野 貞夫

第一部ニ於テ勤務スヘシ(謂ハ海軍技術本部長)

第六部勤務ヲ命ス 海軍大尉 大崎 教信

第五部勤務ヲ命ス 海軍造機少佐 松田 竹太郎

(各通) 海軍技師 八住 甚藏

第四部勤務ヲ命ス(以上謂ハ海軍技術本部) 同 仲野 綱吉

海軍軍令部事務ヲ囑託ス 遞信局勳八等 松村 敬一
但報酬月額拾五圓ヲ贈與ス(謂ハ海軍軍令部)

○ 艦船所在

指定ヲ要セス

○ 四月五日午前十時調

【横須賀】 日榛名、比叡、ト筑摩、平戸、金剛、山城、

朝日、生駒、春日、富士、津輕、千早、橘立、浦州、

武蔵、若宮、ト天龍、ト瀨風、磯風、天津風、時津風、

ト谷風、江風、ト夕立、ト夕暮、ト三日月、ト白露、ト吹雪、

有明、如月、初霜、神風、響、澤風、樺、不知火、薄雲、

浦風、ト潜一六、潜一七、潜一、潜二、ト雄、鷗、

白鷹、松江、ト高崎、ト勝力、關東、潜〇五、潜〇七、

御吉野丸

【浦賀】 梯

【大湊】 日追風、疾風、彌生、夕風

【吳】 長門、攝津、淺間、矢矧、千歳、明石、

淀、千代田、石見、駒橋、ト龍、關炎、階、ト磯波、

浦波、綾波、楡、栗、ト韓崎、ト潜二〇、潜一五、

潜一九、ト潜一〇、潜一一、潜一二、ト潜八、潜九、

潜一三、ト潜五、潜三、潜四、潜六、潜七、潜一四、

潜一三、潜二三、ト水七〇、水六七、水六八、水七一、

潜〇一、潜〇二、潜〇四、潜〇六

【神戶】 潜一八、潜二一、潜二五、潜二六、膠州▲
 【小松島】 伊勢、扶桑、日向、龍田、伊桑、櫻、椿、
 横、楓、桂、梅、楠、杉、檜、松、柳
 【佐世保】 安藝、薩摩、香取、霧島、出雲、磐手▲
 球磨、沖島、檜、海風、山風、櫻、杉、松、柳▲
 竹、梨、樅、村雨、朝霧、白雲、朝潮、蒼鷹、鶴、燕、
 鷲、鶴、雲雀、勞山▲洲崎、港〇三
 【西戸崎】 室戸
 【寺島水道】 鞍馬、伊吹、對馬、春風、初春、初雪、
 時雨
 【長崎】 多摩
 【若津】 雁▲
 【種子島】 志自岐
 【舞鶴】 鹿島、阿蘇、峯風、沖風、島風、
 水七五、水七三、水七二、水七四
 【鎮海】 白雲、松風、野分、蔽
 【旅順】 水無月、長月、菊月、卯月▲
 【馬公】 秋津洲、桐、橘
 【南洋群島】 八雲
 【浦留斯德】 肥前
 【上海】 宇治、伏見
 【漢口】 須磨、嵯峨
 【沙市】 關田
 【新嘉坡】 日進、利根

航海中

吾妻、常磐(三月二十五日坡西土發古倫母へ)
 松山丸(三月三十一日「トラック」發内地へ)
 野間(一日横須賀發「ホルル」へ)
 敷島、福潮、朝風、若葉、子日(三日佐世保發)
 新高三日(吳發舞鶴へ)
 鳥羽(三日上海發漢口へ)
 最上(三日「トラック」發横須賀へ)
 周防(四日江田内發日出へ)
 辨天丸(四日青島發德山へ)
 青島(四日舞鶴發浦鹽へ)
 劍埼(四日鎮海發吳へ)
 巨櫻、楸(四日馬公發打狗へ)
 野島(五日德山發大湊へ)
 大和(五日吳發舞鶴へ)

○ 雜 款

○ 旗艦變更
 第一潜水隊司令官旗艦ヲ本月二日新高ヨリ韓崎ニ變
 更セリ(第二艦隊司令長官)
 ○ 司令驅逐艦變更
 第二十九驅逐隊司令ハ本月三日司令驅逐艦ヲ松風ヨリ
 白雲ニ變更セリ

海軍公報第二千二百五十七號 大正九年四月五日

<p>○郵便物發送先 第四戰隊司令部、筑摩宛 四月七日迄ニ到着見込ノモノハ 横須賀 其ノ後ハ 舞鶴 平戸宛 四月八日迄ニ到着見込ノモノハ 横須賀 其ノ後ハ 吳 周防宛 本日以後 吳 敷島、第三十一驅逐隊、潮、朝風、子日、若葉宛 當分ノ間 佐世保郵便局氣付 運送船劍埼宛 四月九日迄ニ到着見込ノモノハ 徳山 其ノ後ハ 佐世保留置</p>	
<p>○驅逐艦樞行動豫定 地名 著 發 横須賀 四月 五日 大 阪 四月 六日 佐世保 九日 八日</p>	
<p>○運送船洲埼第五同行動豫定 地名 著 發 佐世保 四月二十一日 四月十二日 タラカン 五月 七日 二十七日 佐世保</p>	
<p>○軍艦周防巡航豫定 地名 第一回 著 發 第二回 著 發 吳 四月三日 四月三日 江田内 四月三日 四月十一日 日 出 四月四日 四月十二日 別 府 六月六日 六月十四日 佐賀ノ關 六月七日 六月十四日 宇和島 七月七日 七月十五日 大三島 八月九日 八月十六日 江田島 九月九日 九月十七日 吳 九月九日 九月十七日</p>	
<p>○赴任出發期變更(三月三十一日) 佛國駐在仰付ラントル海軍機關大尉永江晋ハ四月十三日午前八時三十分東京發同十五日午前十一時神戸出港ノ横濱丸ニテ赴任ノコトニ變更セリ</p>	
<p>○在外武官宿所 伊國駐在海軍少佐精谷宗一ノ宿所左ノ通報アリタリ 6, Via Mentana, Roma.</p>	
<p>○正誤 本月二日辭令欄中海軍中佐吉村信成或文學博士大類伸ノ辭令ハ衍</p>	

(部内限一頁)

6008

2066

海軍公報

第二千二百五十八號

海軍大臣官房

大正九年四月六日(火)

○通牒

海人第二三號
大正九年四月六日

海軍省人事局長 谷口 尙 眞

各 廳 長 殿

今般達第四十六號ヲ以テ勤務日數計算規則發布相成候ニ就テハ大正二年海人第八號、大正六年海人第十七號及大正七年海人第三十九號ハ自然消滅御承知相成度

參照 大正二年海人第八號ハ運用術學生タル間ハ日數海上勤務ニ算入方ノ件
大正六年海人第十七號ハ航空勤務ニ關スル件
大正七年海人第三十九號ハ停年計算規則中解釋ノ件

○辭令

○大正九年四月二日

小山 達
平石 杉之丞
秀永 六郎
大畑 節次

(各通)

任海軍豫備一等兵曹

(各通)

中川 清一	源氏 清一	梶東 信雄	林 信雄	大塚 恒夫	瀧山 只夫	神戶 時次	三宅 團造	益子 慶治	本田 正勝	廣田 嘉男	青木 嘉男	竹本 九郎	篠崎 富次郎	前田 雪惠	松村 嘉六	室田 次郎	松浦 次郎	谷口 信次	大河原 一彦
-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

海軍公報第二千二百五十八號

大正九年四月六日

二八三

8005

2067

大出

大關 民夫
 森 德次郎
 村中 正男
 辻 太郎
 三好 求馬
 柳澤 滋
 上山 貞男
 任海軍豫備一等機關兵費(以上謂海軍省)
 海軍技手 淺川 好文
 第三部附ヲ命ス(謂海軍技術本部)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○四月六日午前十時調

【横須賀】 伊藤名、比叡、ト筑摩、平戸、金剛、山城、朝日、生駒、春日、富士、津輕、千早、橋立、浦州、武藏、若宮、ト天龍、ト濱風、磯風、天津風、時津風、ト谷風、江風、ト夕立、ト夕暮、ト三日月、ト白鷺、ト吹雪、有明、如月、初霜、神風、響、澤風、榎、ト不知火、霧雲、浦風、ト潜二六、潜一七、潜一、潜二、ト雄、鷗、白鷹、松江、ト高崎、ト勝力、關東、潜〇五、潜〇七、御吉野丸

【浦賀】 梯

【大湊】 ト追風、疾風、彌生、夕風

【吳】 長門、攝津、淺間、矢矧、千歲、明石、淀、千代田、石見、駒橋、ト龍、陽炎、曙、ト磯波、浦波、綾波、楡、栗、ト韓崎、ト潜二〇、潜二五、潜一九、ト潜一〇、潜一一、潜一二、ト潜八、潜九、潜一三、ト潜五、潜三、潜四、潜六、潜七、潜一四、潜二二、潜二三、ト水七〇、水六七、水六八、水七一、潜〇一、潜〇二、潜〇四、潜〇六

【神戶】 潜一八、潜二一、潜二五、潜二六、膠州、ト小松島、ト龍田、ト桑、楢、楢、ト楓、桂、樹、楠、ト檜、桃、櫻、柳

【佐世保】 ト鞍馬、伊吹、ト安藝、薩摩、香取、霧島、出雲、ト碧手、球磨、沖島、ト對馬、ト春風、初春、初雪、時雨、ト檜、海風、山風、夏、ト柏、ト杉、ト松、ト榎、ト竹、架、ト村雨、朝霧、白雲、朝潮、ト蒼鷹、ト鶴、ト鷲、ト鷗、ト雲雀、ト勞山、ト洲崎、潜〇三

【西戶崎】 室戸

【長崎】 多摩

【若津】 雁

【種子島】 志自岐

【舞鶴】 鹿島、阿蘇、新高、峯風、ト沖風、島風、ト水七五、水七三、水七二、水七四

【鎮海】 ト白雪、松風、野分、毅

【羅津浦】 敷島、ト潮、朝風、若葉、子日

【旅順】 ト水無月、ト長月、ト菊月、ト卯月

【馬公】 秋津洲、桐、橘

2068

2068

打 狗 巨櫻、橋

南洋群島 八雲

浦鹽斯德 肥前

上海 嵯峨、宇治、伏見

漢 口 須磨

新嘉坡 日進、利根

航海中

吾妻、常磐(三月二十五日城西土發古倫母へ)

松山丸(三月三十一日「トラツク」發内地へ)

野間(一日横須賀發「ホノルル」へ)

鳥羽(三日上海發漢口へ)

最上(三日「トラツク」發横須賀へ)

周防(四日江田内發日出へ)

辨天丸(四日青島發徳山へ)

青島(四日舞鶴發浦鹽へ)

劍埼(四日鎮海發吳へ)

野島(五日徳山發大湊へ)

大和(五日吳發舞鶴へ)

伊勢、扶桑、日向(五日小松島發二見へ)

隅田(五日沙市發漢口へ)

○ 雜 款

○改姓

海軍技手佐伯赴夫ハ東京府平民淡近家へ入籍ノ旨本月五日届出タリ

海軍公報

第二千二百五十九號

海軍大臣官房

大正九年四月七日(水)

○令達

官房第一一八六號

大正九年四月七日

海軍大臣 加藤友三郎

各鎮守府司令長官殿
大湊、鎮海要港部司令官殿

防備隊司令會議ノ件

來ル五月二十四日ヨリハ日間ノ豫定ヲ以テ防備隊司令會議開催條防備隊司令ヲシテ同日午前八時迄ニ本省ニ參集セシムヘシ
右訓令ス

○辭令

○大正九年四月一日

任海軍屬
給月俸貳拾七圓
任海軍屬
給月俸貳拾七圓
任海軍屬

水谷 誠太郎
畑中 市藏
坂戸 範侃

給十級俸

○大正九年四月二日

任海軍書記
給月俸參拾貳圓

松永百太郎

(各通)

海軍屬 水谷 誠太郎

同 畑中 市藏

同 坂戸 範侃

海軍省人事局附ヲ命ス(海軍省) 海軍書記 松永百太郎

佐世保海軍經理部附ヲ命ス(海軍省) 海軍書記 伊東猪三郎

伊國へ出張ヲ命ス(海軍省) 土屋 豊松

海軍省事務囑託ヲ解ク(海軍省) 平沼 騏一郎

同 法學博士 豐島 直通

同 同 花井 卓藏

同 同 富井 政章

同 同 石渡 敏一

同 同 河村 讓三郎

同 同 鵜澤 聰明

海軍公報第二千二百五十九號

大正九年四月七日

二八七

2070

百圓 同 牧野 英一
百圓 原 象一郎
海軍治罪法改正案調査委員囑託ノ報酬トシテ金(各頭書ノ通)圓ヲ贈與ス(海軍省)

(各通) 文學博士 大類 伸
海軍中佐 吉村 信成

海軍軍令部編纂事務ヲ囑託ス、
但報酬月額六拾五圓ヲ贈與シ部内限リ奏任官待遇トス(海軍省)

(各通)

海軍技手 沼澤 武志
同 澤守 源重郎
同 遠藤 雅晴
同 大庭 平一

第六部勤務ヲ命ス(海軍技術本部)

海軍技手 辻 生一

第二部附ヲ命ス(海軍技術本部)

兼造兵監督助手ヲ命ス(海軍技術本部)
海軍技手 青野 隼人

正課

本月二日本欄海軍技手丸本多吉、丸本多吉ノ誤

○艦船所在

相定ヲ要セス

○四月七日午前十時調

【横須賀】 口榛名、比叡、口筑摩、平戸、金剛、山城、朝日、生駒、春日、富士、津輕、千早、橋立、滿洲、武蔵、若宮、口天龍、口浪風、磯風、天津風、時津風、口夕立、夕暮、三月月、白鷺、口吹雪、有明、如月、初霜、神風、響、澤風、樺、不知火、薄雲、浦風、口潛一、口潛二、口潛一六、口潛一七、口雄鷲、白鷹、松江、高崎、勝利、關東、口潛〇五、口潛〇七、御吉野丸
【浦賀】 梯
【大湊】 口追風、疾風、彌生、夕風
【二見】 口伊勢、扶桑、日向、口龍田、口桑、櫻、椿、横、口楓、桂、梅、楠、口檜、桃、櫻、柳
【吳】 口長門、攝津、淺間、矢矧、口千歲、明石、淀、口代田、石見、駒橋、口龍、陽炎、隱、口磯波、浦波、綾波、楢、栗、口潛一五、口潛一九、口潛一〇、口潛一一、口潛一二、口潛八、口潛九、口潛一三、口潛一四、口潛一六、口潛一七、口潛一八、水六八、水七一、口潛〇一、口潛〇二、口潛〇四、口潛〇六
【神戶】 口潛一八、口潛二一、口潛二五、口潛二六、膠州
【波】 口韓崎、口潛二〇
【司】 口檜、海風、山風、榎
【佐世保】 口鞍馬、伊吹、霧島、出雲、磐手、口球磨、沖島、口對馬、口春風、初春、初雪、時雨、口柏、杉、松、口榎、口竹、梨、樅、口村雨、朝霧、白雲、朝潮、口蒼鷹、口鷲、口鷲、口鷲、口雲雀、口山、口洲崎、口潛〇三

0708

2071

【西戸崎】 室戸
 【長崎】 多摩
 【若津】 雁▲
 【種子島】 志自岐
 【舞鶴】 鹿島▲、阿蘇▲、新高、塚風▲、沖風、島風、
 口水七五、水七三、水七二、水七四
 【鎮海】 口水七、水七二、水七四
 【羅津浦】 敷島、口潮、朝風、若葉、子日
 【旅順】 口水無月▲、長月▲、菊月▲、卯月▲
 【馬公】 秋津洲、桐、橘
 【打狗】 巨櫻、樺
 【南洋群島】 八雲
 【浦羅斯德】 肥前
 【上海】 嵯峨、宇治、伏見
 【漢口】 須磨
 【新嘉坡】 日進、利根

【航海中】
 ▶吾妻、常磐(三月二十五日、坡西土發古倫母へ)
 松山丸(三月三十一日、「トラツク」發内地へ)
 野間(一日、横須賀發「ホルル」へ)
 鳥羽(三日、上海發漢口へ)
 最上(三日、「トラツク」發横須賀へ)
 辨天丸(四日、青島發德山へ)

青島(四日、舞鶴發浦鹽へ)
 劍崎(四日、鎮海發吳へ)
 野島(五日、徳山發大湊へ)
 大和(五日、吳發舞鶴へ)
 隈田(五日、宜昌發漢口へ)
 巨谷風、江風(六日、横須賀發吳へ)
 ▶安藝、薩摩、香取(六日、佐世保發部崎へ)
 高防(六日、佐賀ノ關發宇和島へ)
 篠、野分(六日、鎮海發釜山へ)

○雜款
 ○司令潜水艦變更
 第一潜水隊司令ハ本月四日司令潜水艦ヲ第十六潜水艦
 ヲ第一潜水艦ニ變更セリ
 ○郵便物發送先
 軍艦武藏宛
 四月二十日迄ニ到着見込ノモノハ
 其ノ後ハ 巖手縣釜石局氣付
 軍艦嵯峨宛 横須賀
 本日以後 佐世保

○運送船劍崎行動豫定中變更(三月十七日
 本欄参照)

海軍公報第二千二百五十九號 大正九年四月七日

二八九

2708

2072

海軍公報第千二百五十九號 大正九年四月七日

二九〇

地名 第八回 著	佐世保 海 第九回 四月四日	鎮海 第九回 四月六日	吳山 第十回 四月七日	德山 第十回 四月十二日	佐世保 海 四月十四日	發 四月三日	四月四日	四月七日	四月十日	四月十三日
----------	----------------	-------------	-------------	--------------	-------------	--------	------	------	------	-------

○改姓
海軍主計少尉佐藤政男ハ茨城縣平民宮本家へ入籍ノ旨
本月一日届出タリ

(部内限一頁)

3808

2073

海軍公報

第二千二百六十號

海軍大臣官房

大正九年四月八日(木)

○令達

官房第一二〇四號
海軍工作廳ノ職工ニハ本年四月一日以降大正八年四月
達第六十七號ノ臨時手當ヲ支給セス

大正九年四月八日

海軍大臣 加藤友三郎

官房第一二〇五號

軍艦勝力及特務艦乗組ノ兵軍帽前章ハ當分ノ間從前ノ
規定ニ依ル特務船乗組ノモノヲ混用スルコトヲ得

大正九年四月八日

海軍大臣 加藤友三郎

○通牒

官房第一〇三一號ノ四

大正九年四月八日

海軍次官 柄内會次郎

横須賀、吳鎮守府
第一、二、三艦隊司令長官殿

海軍公報第二千二百六十號 大正九年四月八日

外國船ヨツハナ號外六隻不開港場寄港ノ件出願ニ付別
紙ノ趣旨ニ依リ許可方遞信大臣ノ照會ニ應シタル未令
般該免狀交付セラレタリ
別紙ハ本年一月九日海軍公報第二千八百八十五號及二
月十日海軍公報第二千二百十二號掲載ノモノニ同シ
但シ免狀番號及免狀有効期間ハ左記ノ通ナリ

船名	免狀番號	免狀有効期間
ヨツハナ	第六九一號	自大正九年四月七日 至大正十年四月六日
シトバード	第六九二號	同
大名	第六九三號	同
ベトル	第六九四號	同
エルサ	第六九五號	同
シグネット	第六九六號	同
ヴァルキリエ	第六九七號	自大正九年四月十九日 至大正十年四月十八日

○辭令

○大正九年四月七日
任海軍技手

加藤 健男

二九一

2074

給月俸參拾七圓

海軍技師 加藤 健男
 海軍警吏補ヲ命ス 有 福 禎藏
 月俸貳拾七圓ヲ給ス 有 福 禎藏
 海軍警吏補 有 福 禎藏
 臨時南洋群島防備隊附ヲ命ス 有 福 禎藏
 海軍少佐 洪 泰夫
 佛國駐在中加俸三千五百圓ヲ給ス 洪 泰夫
 海軍少佐 佐古 良一
 瑞西國駐在中加俸三千五百圓ヲ給ス 佐古 良一
 (各通) 海軍警吏 吉松 徳次郎
 海軍警吏 藤森長左衛門
 依願免本官(以上海軍省)
 九州帝國大學教授工學博士 永積 純次郎
 海軍煉炭製造所ニ於テ技術ニ關スル事項囑託ノ報酬
 トシテ金貳百圓ヲ贈與ス
 九州帝國大學教授 織田 經二
 海軍ニ於ケル「コールドール」燃料研究ニ關スル事
 項囑託ノ報酬トシテ金貳百圓ヲ贈與ス(以上海軍省)
 (各通) 海軍技師 八住 甚藏
 同 仲野 綱吉
 第二課勤務ヲ命ス(海軍省艦政局)

海軍機關少佐 梶本 金平
 第五部ニ於テ勤務スヘシ(海軍技術本部長)
 兼造船監督助手ヲ免ス 加藤 信吉
 兼造船監督助手ヲ免ス 白石 順二
 兼海軍造兵廠勤務ヲ免ス 同
 兼造船監督助手ヲ免ス 同
 兼海軍技術本部附造兵監督助手ヲ命ス 同
 第六部附ヲ命ス(以上海軍技術本部) 尾形 孝道
 (各通) 海軍屬 水谷 誠太郎
 同 畑中 市藏
 同 坂戸 範侃
 第二課附ヲ命ス(海軍省人事局)

○艦船所在

▲印ハホカヘテ
指定ヲ要セス

○四月八日午前十時調
 横須賀 樺名、ト筑摩、平戸、金剛、山城、朝日、
 生駒、春日、富士、津輕、千早、橋立、滿州、武藏、
 若宮、勝力、ト天龍、ト濱風、磯風、天津風、時津風、
 ト夕立、ト夕暮、ト三月月、ト白雲、ト吹雪、有明、
 如月、初霧、神風、響、澤風、不知火、薄雲、浦風、
 巨港一、港二、港一六、港一七、ト雄、鴨、白鷹、
 松江、高崎、關東、港〇五、港〇七、御吉野丸

【浦賀】 梯
 【大湊】 疾風、彌生、夕風
 【二見】 伊勢、扶桑、日向、龍田、桑、櫻、椿、楓、桂、梅、楠、檜、桃、櫻、柳
 【吳】 長門、攝津、淺間、矢矧、千歲、明石、淀、千代田、石見、駒橋、陽炎、曙、磯波、浦波、綾波、檢、栗、潜一五、潜一九、潜一〇、潜一一、潜一二、潜一八、潜九、潜一三、潜五、潜三、潜四、潜六、潜七、潜一四、潜二二、潜二五、潜三〇、水六七、水六八、水七一、潜〇一、潜〇二、潜〇四、潜〇六
 【神戶】 潜一八、潜二一、潜二五、潜二六、膠州
 【玖波】 韓崎、潜二〇
 【徳山】 劍崎、辨天丸
 【門司】 檜、海風、山風、櫻
 【佐世保】 鞍馬、伊吹、霧島、出雲、碧手、球磨、沖島、對馬、春風、初春、初雪、時雨、白松、杉、松、竹、梨、椛、江村雨、朝霧、白雲、朝潮、若廣、鶴、燕、鷗、鶉、雲雀、勞山、洲崎、潜〇三
 【部崎】 安藝、薩摩、香取
 【長崎】 多摩
 【若津】 雁
 【種子島】 志自岐
 【舞鶴】 鹿島、阿蘇、新高、峯風、沖風、島風
 【鎮海】 白雪、松風、鞍、野分

【羅津浦】 敷島、湖、朝風、若葉、子日
 【旅順】 長月
 【大連】 水無月、菊月、卯月
 【馬公】 秋津洲、櫻、桃、桐、橘
 【南洋群島】 八雲
 【浦蘆斯德】 肥前
 【上海】 宇治、伏見
 【漢口】 須磨
 【新嘉坡】 日進、利根
 【航海中】
 吾妻、常磐(三月二十五日坡西土發古倫母)
 松山丸(三月三十一日「トラック」發內地)
 野間(一日橫須賀發「ホルル」)
 鳥羽(三日上海發漢口)
 最上(三日「トラック」發橫須賀)
 青島(四日舞鶴發浦蘆)
 野島(五日德山發大湊)
 大和(五日吳發舞鶴)
 隅田(五日宜昌發漢口)
 江風(六日橫須賀發吳)
 嵯峨(七日上海發佐世保)
 周防(七日宇和島發大三島)
 室戶(七日西戶崎發橫須賀)

海軍公報第二千二百六十號 大正九年四月八日

二九三

3708

2076

樞(七日横須賀發佐世保へ)
水七五、水七四、水七三、水七二(八日小濱發舞鶴へ)
比級(八日横須賀發佐世保へ)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

第一遣外艦隊司令部、須磨宛
自今上海郵便局氣付トス

第一艦隊司令部、伊勢、扶桑、日向宛

四月十四日迄到著見込ノモノハ
同 十八日迄 同
其ノ後ハ
品 横 横
川 濱 須 賀

第二戰隊司令部、安藝、香取、薩摩宛

四月十四日迄到著見込ノモノハ
同 十八日迄 同
其ノ後ハ
横 横
濱 須 賀

軍艦千早宛

四月十三日迄到著見込ノモノハ
同 十七日迄 同
其ノ後ハ
清 鳥
水 羽 賀

驅逐艦楡宛
本日以後
佐 世 保

○ 十三海軍諸例則第十回改正(大正九年一月一日)挿換紙
右ハ本月七日發送ヲ了セリ(海軍大臣官房)

○ 滞在地變更

海軍中佐加藤弘三ハ吳ヨリ東京へ滞在地變更ノ儀本月
七日認許セラレタリ

海軍軍醫大尉上野武夫ハ吳ヨリ佐世保へ滞在地變更ノ
儀本月五日認許セラレタリ

(部内限一頁)

3809

2077

海軍公報

第二千二百六十一號

海軍大臣官房

大正九年四月九日(金)

○令達

官房第一二二三號
 當分ノ内普通科電信術練習生ハ新ニ命セラレタル三等水兵ニシテ年齢二十二年未滿ノモノ及電信通信ノ心得アリ將來掌電信兵トシテ有望ナル二三等水兵ヨリ採用スルコトヲ得、後者ノ採用手續ハ海軍水雷學校規則第二十條ニ準シ海軍教育本部長適宜之ヲ定メ施行スルモ
 ノトス
 大正六年九月二十七日官房第二九二八號ハ之ヲ廢止ス
 大正九年四月一日
 海軍大臣 加藤友三郎

○辭令

○大正九年四月一日
 任海軍書記 水越 永吉
 給九級俸 山崎 甚六
 任海軍技手 濱永 林助
 給月俸參拾七圓
 ○大正九年四月八日
 任海軍技手

給五級俸

(各通)

海軍火藥廠附ヲ命ス(海軍省)

吳海軍工廠附ヲ命ス(海軍省)

(各通)

海軍造兵學生ヲ命ス(海軍省)

(各通)

海軍書記	水越 永吉
海軍技手	山崎 甚六
海軍技手	濱永 林助
海軍中佐	寺島 宇瑩美
同	橋本 才輔
同	與井 茂
同	亥角 喜藏
海軍少佐	鈴木 勇
同	小林 普
同	高橋 健二
同	宇野 積藏
同	香椎 哲三郎
同	神田 嘉穂
同	田上 義次
同	大島 準一郎
同	保倉 長三郎
同	戸祭 圭太郎

海軍公報第二千二百六十一號

大正九年四月九日

二九五

【長崎】 多摩、港四二
 【若津】 雁▲
 【種子島】 志自岐
 【舞鶴】 鹿島、阿蘇、新高、大和、峯風、沖風、島風、口水七五、水七四、水七三、水七二
 【鎮海】 駁、野分
 【羅津浦】 敷島、口潮、朝風、若葉、子日
 【旅順】 口水無月、長月、菊月、卯月
 【馬公】 秋津洲、巨櫻、樺、桐、橘
 【南洋群島】 八雲
 【浦鹽斯德】 ト肥前
 【上海】 伏見
 【漢口】 ト須磨
 【新嘉坡】 ト日進、利根

【航海中】
 ト吾妻、常磐(三月二十五日坡西土發古倫母へ)
 松山丸(三月三十一日「トラック」發内地へ)
 野間(二日横須賀發「ホルル」へ)
 鳥羽(三日上海發漢口へ)
 最上(三日「トラック」發横須賀へ)
 青島(四日舞鶴發浦鹽へ)
 明田(五日宜昌發漢口へ)
 嵯峨(七日上海發佐世保へ)

室戸(七日西戸發横須賀へ)
 比叡(八日横須賀發佐世保へ)
 檢(八日吳發佐世保へ)
 ト筑摩(八日横須賀發舞鶴へ)
 宇治(八日上海發漢口へ)
 臼雪、松風(八日鎮海發統營へ)
 周防(九日宮島發江田内へ)
 平戸(九日横須賀發吳へ)

○雜款

○郵便物發送先
 特務艦高崎宛
 四月十六日迄ニ到達見込ノモノハ
 同 二十二日 同
 同 二十六日 同
 同 三十日 同
 同 三十五日 同
 同 三十五日 同
 同 三十日 同
 同 七月 同
 同 十一月 同
 其ノ後ハ

横須賀 門司 吳 佐世保 旅順 舞鶴 佐世保 德山 吳 横須賀

(部内限三頁、附録一枚)

海軍公報

第二千二百六十二號

海軍大臣官房

大正九年四月十日(土)

○令 達

官房第一二三四號

水路測量ノ爲各地沿岸ニ出張スル者ニ支給スル旅費ノ

日當、宿泊料及食卓料當分ノ内別表ノ通定ム

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ適用ス

大正七年官房第九二二號ノ二ハ之ヲ廢止ス

大正九年四月十日

海軍大臣 加藤友三郎

(別表)

官 等	日 當			
	内地 北海道千島 ヲ除ク	北海道千島	朝鮮、臺灣、 樺太	支那、南洋 群島
佐官、尉、特務士、准士官、下士官、兵、雇員、傭人	1,300	1,000	1,000	1,750
佐官、高等官、候補士官、列任官、見習	900	1,000	1,000	1,500
文官、三等官、候補列任文官、習	600	800	800	1,250
雇員、傭人	500	600	600	900

食 卓 料	宿 泊 料		
	内地 北海道千島 ヲ除ク	北海道千島	朝鮮、臺灣、 樺太、 支那、南洋 群島
1,000	1,400	1,600	2,400
900	1,300	1,500	2,300
800	1,200	1,400	2,200
700	1,100	1,300	2,100
600	1,000	1,200	2,000

備考

- 露領沿海洲及勘察加沿岸ニ出張スル者ニハ樺太ト同額ヲ支給ス
- 日當及宿泊料ハ測量地到着ノ翌日ヨリ發程ノ前日迄之ヲ支給ス但シ艦船乗員測量地ニ於テ本艦ヲ離レ測量ニ從事スルトキハ其ノ日ヨリ歸艦歸船ノ日(宿泊料ハ歸艦)迄本表ノ額ニ依ル
- 食卓料ハ艦船附屬又ハ官用ノ船艇ニテ測量ニ從事シ該船艇内ニ起臥スル場合ニ限り其ノ夜數ニ應シ之ヲ支給ス
- 艦船乗員測量ノ爲出張シ一日内ニ往復スル場合ニ於テ水路三十海里以上ニ及フトキハ日當ノ半額ヲ支給ス

海軍公報第二千二百六十二號 大正九年四月十日

二九九

2083

○辭令

海軍造船大尉 福田 啓二
英國駐在中加俸三千三百圓ヲ給ス

海軍技手 沼津 武志

(各通) 同 尾形 孝道

同 澤守 源十郎

同 遠藤 雅晴

同 大庭 平一

佛國へ出張ヲ命ス 從五位勳四等 矢繼篤太郎

佐世保海軍經理部土木工事業務ヲ囑託ス

但報酬月額百五十拾圓ヲ贈與シ部内限リ奏任官待遇トス(以上海軍省)

○艦船所在

△印ハ△ケルヲ指定ヲ要セズ

○四月十日午前十時調

【横須賀】 伊榛名、金剛、山城、朝日、生駒、春日、

富士、津輕、橋立、瀧州、武藏、若宮、勝力、

▷天龍、▽濱風、磯風、天津風、時津風、▽夕立、

夕暮、△三月月、白雲、▽吹雪、有明、如月、

初霜、神風、響、澤風、不知火、濃雲、浦風、▽潛一、

潛二、潛一六、潛一七、▽雄鷲、鴻、白鷹、松江、

高崎、△關東、室戸、潛〇五、潛〇七、御吉野丸

【浦賀】

水、千早

【大湊】 追風、疾風、彌生、夕風、野鳥

【二見】 伊勢、扶桑、日向、龍田、△桑、△椿、

△楓、△桂、△楠、△檜、△櫻、△柳

【吳】 長門、攝津、淺間、矢矧、千歲、明石、

周防、淀、千代田、石見、駒橋、△臘、△陽炎、△曙、△磯波、

浦波、綾波、△谷風、江風、栗、潛一五、潛一九、

▽潛一〇、潛一一、潛一二、▽潛八、潛九、潛一三、

▽潛五、潛三、潛四、潛六、潛七、潛一四、潛二二、

潛二三、▽水七〇、水六七、水六八、水七一、潛〇一、

潛〇二、潛〇四、潛〇六

【神戶】 潛一八、潛二一、潛二五、潛二六、膠州、

【波】 韓崎、潛二〇

【徳山】 劍崎、辨天丸

【佐世保】 鞍馬、伊吹、霧島、出雲、磐手、球磨、

沖島、▷對馬、△春風、初春、初雪、時雨、△柏、△杉、

△松、△竹、△梨、△榎、△村雨、朝霧、白雲、朝潮、

△檜、△蒼鷹、△鶴、△鷲、△鷗、△雲雀、△勞山、△洲崎、

潛〇三

【長崎】 多摩、潛四二

【若津】 雁、

【種子島】 志自岐

【舞鶴】 鹿島、阿蘇、新高、大和、峯風、沖風、

島風、▽水七五、水七四、水七三、水七二

【羅津浦】 敷島、巨潮、朝風、若葉、子日
 【旅順】 水無月、長月、菊月、卯月、
 秋津洲、巨櫻、樟、桐、橘
 【南洋群島】 八雲
 【浦鹽斯德】 肥前
 【上海】 伏見
 【漢口】 須磨
 【新嘉坡】 日進、利根

【航海中】

▶吾妻、常磐(三月二十五日坡西土發古倫母へ)
 松山丸(三月三十一日「トラック」發内地へ)
 野間(一日橫須賀發「ホルル」へ)
 鳥羽(三日上海發漢口へ)
 青島(四日舞鶴發浦鹽へ)
 隅田(五日宜昌發漢口へ)
 嵯峨(七日上海發佐世保へ)
 比叡(八日橫須賀發佐世保へ)
 ▶筑摩(八日橫須賀發舞鶴へ)
 宇治(八日上海發漢口へ)
 白雪、松風(八日鎮海發統營へ)
 最上(八日「サイパン」發二見へ)
 平戸(九日橫須賀發吳へ)
 殿、野分(九日鎮海發殿原へ)

▶安藝、薩摩、香取、巨檜、海風、山風、櫻(九日神戶發橫須賀へ)

○雜款

○郵便物發送先
 第十五艇隊(鷲、鶉、雲雀、鶴)宛
 本日以後 鎮海

○特務艦高崎第四十七回行動豫定

地名	著	發
橫須賀	四月二十日	四月十七日
吳	四月二十四日	四月二十三日
門司	五月二日	四月二十七日
佐世保	五月七	五月一日
鎮海	五月十九日	四月十六日
旅順	五月十九日	四月十六日
鎮海	五月十九日	四月十六日
舞鶴	五月十九日	四月十六日
佐世保	五月十九日	四月十六日
德山	六月一日	五月三十一日
吳	六月八日	六月八日
橫須賀	六月十六日	六月十二日

海軍公報第三千二百六十二號 大正九年四月十日

三〇一

○ベスト

四月一日外務省報告

「スラバヤ」ニ黒死病發生三月二十七日ノ調査ニ依レハ
患者三十名内白人一名尙税關倉庫ニ多數ノ屍鼠ヲ發見
シ有菌鼠アリ官憲ハ鼠ノ買上ヲ爲シツツアリ

海軍公報

第二千二百六十三號

海軍大臣官房

大正九年四月十二日(月)

○令達

官房第一二四三號

官房第九〇〇號ハ、横須賀海軍航空隊練習生規則第三條ノ練習生選抜ニモ之ヲ適用ス

大正九年四月十二日

海軍大臣 加藤友三郎

○通牒

官房第一二四四號ノ二

大正九年四月十二日

海軍省副官 野村吉三郎

在京各廳長殿

皇后陛下本月十四日神奈川縣下葉山御發與東京へ還御可被爲在候ニ就テハ御着車時刻等左ノ通ニ有之候
右爲念通知ス

四月十四日午後三時四十分 東京驛御着車
奉迎者服装 通常禮裝
追テ親任官同待遇一同、勅奏任官總代及勤務ニ差支

○辭令

ナキ高等官一同奉迎ノコト(大正六年官房第三二七五號 海軍公報第十五卷 參照)
百四十八號掲載

依願免本官

海軍技手 村上 辰二
勳七等 小谷 財次郎

横須賀海軍經理部所掌土木業務ヲ囑託ス
但報酬月額七拾圓ヲ贈與シ部内限リ奏任官待遇トス
(以上期海軍省)

○艦船所在

△印ハハカ
指定ヲ要セス

○四月十二日午前十時調

【横須賀】 伊勢、扶桑、日向、安藝、薩摩、香取、
橋立、滿州、若宮、勝力、龍田、桑、樺、
樺、桂、梅、楠、檜、桃、櫻、柳、檜、海風、山嵐、櫻、
天龍、濱風、磯風、天津風、時津風、夕立、
夕暮、三日月、白鷺、吹雪、有明、如月、
初霜、神風、響、澤風、不知火、薄雲、浦風、潛一、

海軍公報第二千二百六十三號 大正九年四月十二日

三〇三

2087

<p>【潛二】 潛一六、潛一七、口雄鷗、鴻、白鷹、松江、高崎、關東、室戸、潛〇五、潛〇七、</p> <p>【氣仙沼】 武藏</p> <p>【浦賀】 梯</p> <p>【二見】 最上</p> <p>【清水】 千早</p> <p>【大湊】 口追風、疾風、彌生、夕風、野島、長門、攝津、淺間、平戸、矢矧、千歲、</p> <p>【吳】 明石、淀、千代田、石見、駒橋、口龍、陽炎、曙、口磯波、浦波、綾波、口谷風、江風、栗、潛一五、潛一九、</p> <p>口潛一〇、潛一一、潛一二、口潛八、潛九、潛一三、</p> <p>口潛五、潛三、潛四、潛六、潛七、潛一四、潛二二、</p> <p>潛二三、口水七〇、水六七、水六八、水七一、潛〇一、</p> <p>潛〇二、潛〇四、潛〇六、</p> <p>【神戶】 潛一八、潛二一、潛二五、潛二六、膠州、</p> <p>【新湊】 口韓崎、潛二〇</p> <p>【徳山】 辨天丸</p> <p>【佐世保】 比叡、霧島、出雲、磐手、球磨、嵯峨、</p> <p>沖島、口對馬、口春風、初春、初雪、時雨、口柏、杉、</p> <p>松、口榎、口竹、梨、樅、口村雨、朝霧、白雲、朝潮、</p> <p>嶺、口蒼鷹、鶴、燕、勢山、洲崎、劍崎、</p> <p>【唐津】 潛〇三</p> <p>【寺島水道】 口鞍馬、伊吹</p> <p>【長崎】 多摩、矢風、潛四二</p> <p>【若津】 雁</p>	<p>【種子島】 志自岐</p> <p>【舞鶴】 口筑摩、鹿島、阿蘇、新高、峯風、沖風、島風、口水七五、水七四、水七三、水七二</p> <p>【西郷】 大和</p> <p>【鎮海】 叢、野分</p> <p>【旅順】 口水無月、長月、菊月、卯月、</p> <p>【馬公】 秋津洲、口櫻、樺、桐、橘、</p> <p>【南洋群島】 八雲</p> <p>【浦鹽斯德】 口肥前</p> <p>【上海】 伏見</p> <p>【漢口】 口須磨、隅田、鳥羽</p> <p>【新嘉坡】 口日進、利根</p> <p>【古倫母】 口吾妻、常磐</p> <p>【航海中】</p> <p>松山丸(三月三十一日「トラック」發內地、)</p> <p>野間(一日橫須賀發「ホルル」)</p> <p>宇治(八日上海發漢口、)</p> <p>口白雪、松風(八日鎮海發統營、)</p> <p>御吉野丸(九日門司發)</p> <p>青島(十日浦鹽發舞鶴、)</p> <p>口鷲、鶴、鶉、雲雀(十一日佐世保發鎮海、)</p> <p>周防(十一日江田內發日出、)</p> <p>敷島、口潮、朝風、若葉、子日(十二日羅津浦發佐世保)</p>
---	---

○雜款

○總代

皇后陛下來ル十四日葉山ヨリ還御ニ付同日總代トシテ
東京驛ニ於テ奉迎スヘキ旨左記諸官へ通達セラレタリ
勅任官總代 主 理 内田 重成
奏任官總代 海軍大佐 小牧 自然

○郵便物發送先

軍艦千歲宛
四月十五日迄ニ到着見込ノモノハ 吳
同 十六日 同 德 山
同 二十三日 同 馬 公
同 二十六日 同 基 隆
同 二十九日 同 門前郵便局氣付
其ノ後ハ 吳

○特務艦青島行動豫定

地名	著	發
浦 鹽	四月十三日	四月十日
舞 鶴	四月十九日	四月十七日
佐世保	四月二十二日	四月二十一日
德 山	四月二十六日	四月二十六日
吳 鶴	五月三日	四月二十八日
浦 鹽	五月五日	五月二日

○第二遣外艦隊行動豫定變更(三月二十四日)

地名	著	發
新 嘉 坡	四月十五日	四月十二日
バタビヤ	四月二十一日	四月十九日
サマラン	四月二十七日	四月二十四日
マカッサール	五月十日	五月六日
アムボイナ	五月二十日	五月十八日
ドツボ	六月三十一日	六月二十六日
メナド	七月十日	七月七日
タワオ	七月十六日	七月十三日
新 嘉 坡	八月一日	七月二十四日
柴 棍	八月十三日	八月九日
海 防 港	八月二十三日	八月二十一日
香 隆	九月一日	八月三十日
基 水 道	九月七日	九月七日
寺 島		
佐 世 保		

○伊國大使館附武官歸國
在本邦伊國大使館附海軍武官海軍中佐カルロ、フエン
チ今般賜暇歸國シ其不在中同大使館附海軍武官ノ事務
ハ海軍武官補佐官海軍大尉クナイアニ於テ客月十五日
以來處辨ノ旨通牒アリタリ

○伊國大使館附航空武官著任

海軍公報第二千二百六十三號 大正九年四月十二日 三〇五

曩ニ在本邦伊國大使館附航空武官ニ任命セラレタル伊國海軍大尉トマン、スウルヂイ本月六日著任就職セル旨通牒アリタリ

○瑞典國公使館附武官轉任
在本邦瑞典國公使館附武官海軍大尉ニルス、キルマン今般在ストックホルム同國海軍軍令部出仕ヲ命セラレ本月十日東京出發ノ旨通牒アリタリ

退役海軍大佐從四位勳三等池中小次郎本月九日京都府綾部町上野九〇ニ於テ卒去、同月十日同地ニ於テ葬儀ヲ執行セリ

(部内限一頁)

海軍公報

第二千二百六十四號

海軍大臣官房

大正九年四月十三日(火)

○令 達

官房第一二六一號

大正九年四月十三日

海軍大臣 加藤友三郎

各鎮守府司令長官殿

舍營料ノ件

演習施行ノ際ニ要スル舍營料ハ別表定額以內ノ實費ヲ以テ處辨スル儀ト心得ヘシ

明治三十二年六月官房第二五三六號ハ之ヲ廢止ス

(別表)

舍營料定額表

一 等	二 等	三 等	四 等
將 官	佐尉官、特務士官、候補生	准 士 官	生徒、下士官、兵
七拾錢	五拾錢	參拾五錢	拾八錢

高等文官二等以上ハ一、等ノ額、同三等以下ハ二等ノ額、列任文官ハ三等ノ額、雇員傭人ハ四等ノ額トス

舍營料ハ宿泊ヲ要スル場合ニ限り其ノ泊數ニ應ジ之ヲ支給ス

○通 牒

軍第二二六號ノ二

大正九年四月十三日

海軍省軍務局長 井出謙治

艦隊、鎮守府、要港部參謀長(參謀)殿

汽船トロール漁業許可ノ件

本件ニ關シ左記ノ通農商務省水産局ヨリ通知アリタリ
右通牒ス

記

許可番號	第二三號
住 所	山口縣豐浦郡長府町大字豐浦村千五百八十二番地
氏名又ハ名稱	國 司 浩 助
船 名	布 引 丸

海軍公報第二千二百六十四號 大正九年四月十三日

三〇七

2091

大出

操業區域	第一號ニ同シ
漁獲物陸揚港	同右
許可期間	同右
許可條件	同右
許可年月日	大正九年三月三十日

○辭令
海軍造船大尉 徳川 武定
第四部勤務ヲ命ス(海軍技術本部)

正誤
本月七日本欄二八八頁上段海軍技手沼澤武志ハ沼津武志ノ誤
本月十日本欄中海軍技手澤守源十郎ハ澤守源重郎ノ誤

○艦船所在
△印ハハカノ
指定ヲ要セズ

○四月十三日午前十時誤
【横須賀】 戸伊勢、扶桑、日向、安藝、薩摩、香取、
戸榛名、金剛、山城、春日、富士、橋立、滿州、若宮、

龍田、戸桑、御、椿、楓、戸楓、桂、梅、楠、戸檜、松、榎、
柳、戸海風、山風、楢、榎、戸天龍、戸濱風、磯風、
天津風、時津風、戸夕立、夕暮、三月月、白露、
戸吹雪、有明、如月、初霜、神風、櫻、澤風、浦風、
戸潜一、潜二、潜一六、潜一七、戸雄、鴻、白鷹、
松江、高崎、關取、室戸、潜〇五、潜〇七、
【氣仙沼】 武藏
不知火、濃雲
【館山】 梯
【浦賀】 最上
【二見】 津輕、千早
【清水】 戸追風、疾風、彌生、夕風、野島
【大湊】 長門、攝津、淺間、平戸、矢矧、千歲、
吳、明石、淀、千代田、石見、駒橋、戸臘、陽炎、曙、戸磯波、
浦波、綾波、戸谷風、江風、栗、潜一五、潜一九、
戸潜一〇、潜一一、潜一二、戸潜八、潜九、潜一三、
戸潜五、潜三、潜四、潜六、潜七、潜一四、潜二二、
潜二三、戸水七〇、水六七、水六八、水七一、潜〇一、
潜〇二、潜〇四、潜〇六
【神戶】 潜一八、潜二一、潜二五、潜二六、膠州
【新湊】 韓崎、潜二〇
【徳島】 辨天丸
【日山】 周防
【佐世保】 比叡、霧島、出雲、磐手、球磨、嵯峨、
沖島、戸對馬、戸春風、初春、初雪、時雨、戸柏、杉、

松▲餅▲、梨、柿、口村雨、朝霧、白雲、朝潮、檢、
 口蒼鷹、鶴、燕、勞山▲、劍崎
 唐津 口竹、從、借○三
 寺島水道 口鞍馬、伊吹
 長崎 多摩、矢風、潛四二
 若津 雁▲
 種子島 志自岐
 舞鶴 口筑摩、鹿島▲、阿蘇▲、新高、峯風▲、沖風、
 島風、口水七五、水七四、水七三、水七二、青島
 鎮海 敵、野分、口鷲、鷗、鶯、雲雀
 旅順 口水無月▲、長月▲、菊月▲、卯月▲
 馬公 秋津洲、口櫻、樟、桐、橘
 南洋群島 八雲
 浦鹽斯德 口肥前
 上海 伏見
 漢口 口須磨、陣田、鳥羽
 古倫母 口吾妻、常磐

敷島、口潮、朝風、若葉、子日(十二日羅津浦發佐世保
 勝力(十二日橫須賀發二見)
 大和(十二日西郷發測量地)
 口日進、利根(十二日新嘉坡發「バタバア」)
 洲崎(十二日佐世保發「タラレン」)
 朝日、生駒(十三日館山發)

○雜款
 ○司令驅逐艦變更
 第三十二驅逐隊司令ハ本月九日司令驅逐艦ヲ檣ヨリ海
 風ニ變更セリ

○郵便物發送先
 軍艦生駒宛 四月十五日迄 館山郵便局氣付
 其ノ後ハ 橫須賀

特務艦洲崎宛 本日以後 橫須賀留置
 軍艦勝力宛 本日以後 臨時南洋群島防備隊氣付

○特務艦劍崎行動豫定變更(三月十七日
 本欄参照)

海軍公報第二千二百六十四號

大正九年四月十三日

三〇九

海軍公報第二千三百六十四號 大正九年四月十三日

三一〇

地名	第十一回	著	發
鎮海	四月十六日	四月十五日	二十四日
佐保	二十五日		
鎮海	第十二回		
佐保	四月二十七日	四月二十六日	二十九日
鎮海	第十三回		
佐保	五月二日	五月一日	四日
鎮海	五日		

(部内限二頁)

2094